

第5章

いきいきとした暮らしをつくろう

～誇りとなる市民文化を創造するまちづくり～

1. 人権教育の推進

現状と課題

<人権教育・啓発の推進>

人権尊重の精神と理念が広がり、根付くように、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」などに基づき、市民への人権教育・啓発の取り組みを推進してきました。

平成 18 年（2006 年）4月に「湖南省人権教育基本方針」ならびに「湖南省同和教育基本方針」を策定しました。

また、平成 22 年（2010 年）3月には「湖南省人権教育推進計画」を策定し、平成 30 年度（2018 年度）までの期間で、人権教育や啓発を総合的かつ計画的に進める計画を立てました。このような方針と計画をもとに学校・園における人権教育の指導内容、指導計画の共通の基盤として、平成 23 年度（2011 年度）に教育実践の手引きとしての「湖南省学校・園人権教育基底プラン」を策定し、平成 24 年度（2012 年度）に「湖南省人権教育推進計画に基づく実施計画」を改訂しました。

就学前、小学校、中学校の子どもに対しては、それぞれの発達段階で人権教育と同和教育を推進していますが、いじめなどの人権侵害は深刻化しています。このため、互いを大切にする気持ちを育て、子どもたち自らの人権に関する理解が行動に結びつくようにするためにも、人権教育・同和教育のより一層の推進が必要です。

社会教育においては、人権・同和教育推進協議会の活動や区ごとに人権まちづくり懇談会を進めています。

企業内の人権啓発については、「事業所内公正採用選考・人権啓発推進班員」が市内の企業・事業所を訪問し、公平公正な採用選考とあらゆる人権問題について啓発推進をしています。市内企業・事業所で組織する「湖南省企業・事業所人権啓発推進協議会」の育成、指導にも努めています。

<職員研修の推進>

人権課題解決に向けての地方公共団体の責務を理解し、職員自らがこれまでの人権・同和教育の取り組みに学びながら人権尊重の精神を培い、人権が大切にされる社会づくりやしくみづくりができるよう、職員研修を実施しています。また、人権課題に関する研修会などへの参加も積極的に行い、職員それぞれが全ての業務において人権の視点を重視し、基本的人権が尊重された社会の実現に努めることが求められています。

また、職員の人権に対する考え方や姿勢が、市民や企業などの人権教育に与える影響が大きく、人権啓発のリーダーとして市民の人権意識の高揚のために取り組むことも責務です。

今後は、より一層、理解から実践へとつなげられるよう、研修内容の工夫や実践の機会を増やすとともに、職員が自主的に研修会や地域での活動に参加する必要があります。

施策

1 人権教育・啓発の推進

- 学校や地域社会などにおいて人権尊重の精神を身に付け、自ら実践への行動を起こせるような「豊かな人権文化の創造」をめざして人権教育を進めます。
- 就学前教育と学校教育において、体験型学習などを通じた人権学習の充実を図ります。
- 人権教育ネット推進事業により、市内の学校・園、家庭、地域の教育機関が連携し、児童生徒の人権意識の向上や、生きる力と学力を高める取り組みを進めます。
- 社会教育において、人権まちづくり懇談会、啓発講座の内容の充実や参加促進のための広報を充実し、市民が主体的に学べる学習環境づくりや交流の場づくりに努めます。
- 企業・事業所に対して、「事業所内公正採用選考・人権啓発推進班員」と「湖南市企業・事業所人権啓発推進協議会」による啓発に努めます。

2 職員研修の推進

- すべての職員が「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の本質を理解し、より一層人権意識の向上に努めるよう、職場研修などの内部研修や職域職階別研修、びわこ南部地域人権啓発連続講座などの外部派遣研修を進めます。
- すべての職員に市民啓発講座などへの参加だけでなく、地域活動やボランティア活動にも自主的・意欲的に参加するよう促すとともに、事業所内公正採用選考・人権啓発推進班員研修、人権まちづくり推進班員研修などの研修内容の充実に努めます。

みんなで進める身近な取り組み例

- 人権まちづくり懇談会や啓発講座に積極的に参加しましょう。
- 家庭においてあらゆる人権に関する話しあいを行い、一層の人権意識の向上に努めましょう。

2. 就学前教育・学校教育

現状と課題

<教育内容の充実>

本市の子どもたちの学力については、学校によって違いがあるものの、おしなべて粘り強く取り組んだり、筋道を立てて考えたり、また、文章に表したりすることに弱さが見られます。

社会の変化、子どもの生活や変容に配慮し、各学校・園が地域に根ざし、創意工夫を発揮してそれぞれに特色ある教育活動を推進していますが、さらに、児童生徒の学ぶ意欲を高め、基礎・基本を確実に身に付けることができるよう、保・幼・小・中が連携して効果的な指導方法の工夫改善に努め、一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実を図る必要があります。

課題である特別支援教育・道徳教育の取り組みを強力に推進するために、教職員の資質や指導力を一層向上させるなど、学校の教育力と教師力の向上が必要です。

<就学前教育>

本市においては、緩やかではありますが全体的な幼児数は減少傾向にあります。また、保護者の就学前教育に対するニーズは個別化・多様化しています。このようななか、子育てをめぐる現状と課題に対して、社会全体による費用負担を行いながら、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」、「保育の量的拡大・確保」、「地域の子ども・子育て支援の充実」に向けた取り組みを推進するために、「湖南省子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

<教育環境の充実>

耐震補強・大規模改修を進めてきましたが、整備が必要な小・中学校がまだ残されています。児童生徒の安全や地域の防災拠点の確保という観点から計画的な改修が必要です。

さらに、時代の変化に対応した設備、教材の導入が必要であり、常に変化する情報通信技術を活用した設備の導入を進め、学習効果を高める教育環境の充実を図る必要があります。

＜外国人児童生徒*への学習支援＞

多数の外国人児童生徒*が小・中学校に通学しているため、外国人児童生徒*の就学および居住実態を把握し、保護者に対し制度やサービスについての適正な情報を提供するとともに、交流会や進路の懇談会を開催しています。文化・生活習慣の違いや言葉が通じないことから生じる課題もあるため、学校生活に適応し、日本の子どもたちとともに成長していけるよう、学校や関係機関が連携して支援していくことが求められています。

＜特別支援教育の推進＞

巡回相談担当者会議は、巡回相談を受けた児童生徒の情報交換や、支援方針をプランニングする場となっています。発達に特別な支援が必要な子どもの個別の指導計画については、保護者の願いやアセスメント情報を反映させた内容の充実を図っています。また、個別支援移行計画については、進路先との引継ぎを開催し、義務教育終了後の支援の継続に活用されています。

また、関係機関との連携をさらに強めることにより、教育相談の課題に対応するとともに、不登校の未然防止への取り組みをさらに充実させる必要があります。

＜問題行動への対応と相談事業の充実＞

近年、特に人間関係の構築がうまくいかない子どもたちが増加し、その結果として問題行動や不登校が増えてきています。また、家庭の教育基盤や、生活基盤が脆弱なケースや虐待（特にネグレクト）によるケースも増加傾向にあります。こういった児童生徒のさまざまな悩みや問題・課題に対して、学校や関係機関の適切な支援が求められています。そこで、本市では、SSW（スクールソーシャルワーカー）⁴⁵を配置し、（アセスメントシート⁴⁶を活用した）ケース会議運営や児童生徒への対応方法に助言を行っています。適応指導教室*については、巡回相談を活用し、アセスメントにもとづいた指導を行っています。各校との連携を取りながら学校への復帰をめざした取り組みを進めています。

＜学校・園、地域の安全性の確保＞

通学路などにおける見守り活動やスクールガード対象の研修会の開催などさまざまな取り組みを実施していますが、不審者事案が多く発生しているため、引き続き子どもを見守る体制の維持強化が必要です。

⁴⁵ SSW（スクールソーシャルワーカー）…社会福祉に関する専門的な知識をもち、関係機関などとのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決を図る専門職。

⁴⁶ アセスメントシート…発達検査などの記録を記入するシート。発達検査などとは、各種知能発達検査、日常生活動作（ADL）、各種チェックリストなど。

一方、児童生徒の交通事故は大きな改善が見られず、特に、自転車での無謀な飛び出しによる事故が増えており、加害者にもなりかねない状況が見られることから、安全指導と家庭・地域をあげての安全確保の体制づくりが求められています。

＜家庭・地域との連携＞

本市では、コミュニティ・スクール⁴⁷や学校支援地域本部事業を導入し、両者の融合を図りながら、家庭、地域との協働と参画による、新しい公共型の学校のあり方や家庭、地域の人々と協力しあって教育活動に取り組んでいるところです。こうした家庭、地域と学校・園が一体となって、未来を担う子ども育てをともに考え、実行していくことは重要であることから、今後もこうした取り組みをさらに継続させ、充実を図っていくことが求められています。

幼稚園

園名	教員数 (人)	学級数 (学級)	園児数(人)		
			男	女	計
石部幼稚園	11	5	41	52	93
石部南幼稚園	8	3	31	26	57
菩提寺幼稚園	7	2	20	18	38
水戸幼稚園(私立)	15	6	78	87	165
三雲幼稚園(私立)	17	6	87	83	170
ひかり幼稚園(私立)	14	6	80	72	152

資料：学校基本調査（平成27年（2015年）5月1日現在）



学校支援地域本部の活動



給食センター

⁴⁷ コミュニティ・スクール…学校と保護者や地域住民がともに知恵を出しあい、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めるしくみ。

第5章 いきいきとした暮らしをつくろう

小学校

学校名	教員数 (人)	学級数 (学級)	児童数(人)							計
			学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
石部小学校	32	15	男	45	31	30	27	32	35	200
			女	25	26	26	29	32	26	164
			計	70	57	56	56	64	61	364
石部南小学校	31	15	男	21	17	20	17	19	39	133
			女	18	18	24	31	29	28	148
			計	39	35	44	48	48	67	281
三雲小学校	32	20	男	38	40	34	44	42	38	236
			女	48	42	35	38	41	31	235
			計	86	82	69	82	83	69	471
三雲東小学校	26	14	男	24	33	23	18	17	35	150
			女	27	23	26	19	22	25	142
			計	51	56	49	37	39	60	292
岩根小学校	23	11	男	16	18	17	18	28	14	111
			女	14	20	18	12	13	15	92
			計	30	38	35	30	41	29	203
菩提寺小学校	32	18	男	29	34	27	33	48	49	220
			女	37	17	50	39	27	38	208
			計	66	51	77	72	75	87	428
菩提寺北小学校	25	13	男	19	27	30	19	36	19	150
			女	25	17	19	23	27	20	131
			計	44	44	49	42	63	39	281
下田小学校	27	14	男	26	18	19	29	22	23	137
			女	23	13	20	23	25	22	126
			計	49	31	39	52	47	45	263
水戸小学校	39	18	男	27	38	41	36	31	45	218
			女	29	29	30	37	28	33	186
			計	56	67	71	73	59	78	404
総数	267	138	男	245	256	241	241	275	297	1,555
			女	246	205	248	251	244	238	1,432
			計	491	461	489	492	519	535	2,987

資料：学校基本調査（平成27年（2015年）5月1日現在）

中学校

学校名	教員数 (人)	学級数 (学級)	生徒数(人)				計
			学年	1年	2年	3年	
石部中学校	30	14	男	46	59	74	179
			女	60	60	58	178
			計	106	119	132	357
甲西中学校	33	16	男	65	59	86	210
			女	60	66	72	198
			計	125	125	158	408
甲西北中学校	43	19	男	77	87	100	264
			女	80	69	72	221
			計	157	156	172	485
日枝中学校	36	16	男	59	51	63	173
			女	45	65	54	164
			計	104	116	117	337
総数	142	65	男	247	256	323	826
			女	245	260	256	761
			計	492	516	579	1,587

資料：学校基本調査（平成27年（2015年）5月1日現在）

施策

1 教育内容の充実

- 幼稚園や学校ごとの創意を生かした特色ある教育課程を実施し、発達段階に応じた経験や活動、異年齢間の交流を積極的に推進します。また、共感的人間関係を学ぶ学習を取り入れ、基本的モラルや規範意識を醸成し、思いやりの心を育むところの教育の工夫に努め、健やかな心身と豊かな人間性、生きる力の育成を図ります。
- 平成 25 年度（2013 年度）4 月より本格実施となった「湖南省学力向上プロジェクト」の3つのプログラム①授業改善、②読書活動の推進、③家庭学習の充実の具体的な実践を進め、こなんっ子の学力保障を支えます。
- これらに対応できる指導者の育成と確保をめざし、教職員の専門性を磨きます。また、「夏季教職員全員研修会」、教育研究所が主体となって開催する「教師力アップセミナー」、湖南省と東京学芸大学の連携による「湖南省現職教員アドバンス研修」などにおいて若手・中堅教員の資質向上を図ります。
- 平成 27 年度（2015 年度）より学力向上委員会を主体として、4 中学校区において授業改善に資する授業研究会を実施します。

2 就学前教育

- 親の就労などの事情に関わらず、教育・保育の一体的な提供のために、認定こども園*の普及を推進します。
- 質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供していきます。

3 教育環境の充実

- 安心・安全を第一とした施設環境と今日の教育課題に対応した環境づくりに努めます。特に子どもたちの安心で安全な学校生活のため、体育館棟における非構造部材や残っている校舎棟の耐震化、空調整備など教育環境の充実を図ります。
- 情報通信技術活用のための環境の整備、教材の充実を図ります。

4 外国人児童生徒*への学習支援

- 日本語の習得度にあわせた少人数指導を実施し、児童生徒の日本語や日本文化に対する理解を深め、日本語教室の充実を図ります。

- 日本語初期指導教室を有効に活用し、支援の充実を図ります。
- 外国人児童生徒*の学習支援の場および子どもや保護者からの相談を受ける場として外国人の子育て支援事業の充実を図ります。
- 不就学ゼロをめざし、通訳同行のもと訪問による実態調査を実施し、適切な情報を提供します。

5 特別支援教育の推進

- 「湖南省発達支援システム」の一環として特別支援教育の推進体制を強化し、個別のケースへの対応やニーズの把握、指導計画の作成・実践・評価の充実によって効果的な支援を図ります。さらに、中学校卒業時での個別支援移行計画の作成と引継を行います。
- 特別支援学級での指導はもとより、通常学級における特別支援教育の充実のために、専門家による巡回相談をさらに活用するとともに、職員研修の充実を図ります。
- 適応指導教室*やことばの教室での取り組みを充実させるとともに、関係機関と学校・園との連携した指導をさらに推進し、就学支援の充実を図ります。
- インクルーシブ教育システム*構築のため、基礎的環境整備と合理的配慮の提供を行います。
- 各ライフステージ間において支援の引き継ぎが円滑にできるように、個別調整会議や個別ケース会議を重視するとともに、ITネットワーク「KIDS」を活用し、関係機関が連携して継続的に支援する体制をつくります。

6 問題行動への対応と相談事業の充実

- 生徒指導の充実を図るとともに、児童生徒一人ひとりのケースに応じた継続的できめ細かな相談・指導体制の充実を図り、不登校やいじめなどの未然防止と問題行動への対応の充実に努めます。
- 巡回相談を活用し、問題行動を早期発見早期対応できるように努め、適応指導教室*（ふれあい教育相談室）の充実に継続的に取り組みます。
- SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置を継続し、学校教育に福祉の視点を取り入れながら諸問題に対応していきます。

7 学校・園、地域の安全性の確保

- 学校構内や学校周辺において教職員などによるパトロールなどを強化するとともに、学校構内への不審者の侵入による被害を未然に防止できるよう通報機器や防犯用具などの整備、充実を図り、防犯体制の強化に努めます。
- 児童生徒が日常生活に潜むさまざまな危険を予測し、適切な意志決定や判断ができる力を育成する安全教育の充実に努めます。
- 各学校の通学路における安全対策については、引き続きPTAやスクールガードなど地域のボランティアに協力を求めるとともに、地域ぐるみで児童生徒の安全を確保する支援体制を推進していきます。

8 家庭・地域との連携

- 地域住民が、学校・園の運営に理解を深め、参画することにより、学校・園の教育力と地域の教育力を生かしながら、地域ぐるみで学校を支える開かれた魅力ある学校づくり・環境づくりをめざします。

みんなで進める身近な取り組み例

- 地域の子どもたちの成長を、すべての大人たちが協力し、地域ぐるみで守り育てましょう。
- 家庭教育を大切にし、幼い頃から子どもの正しい生活習慣や豊かな人間性などを育むよう、努めましょう。
- 発達に特別な支援が必要な子どもを理解し、周囲があたたかく見守る地域づくりを進めましょう。
- ボランティアなどの協力による学校環境整備を進めましょう。



授業の様子

3. 若者の社会参画

現状と課題

< 青少年の健全育成 >

全国的に、核家族化や少子化の進展により、家庭や地域における幼い時からの子ども同士のふれあいや地域活動を通じた社会参加の機会が減少しており、青少年の社会性の育成が課題となっています。本市でもいじめ、不登校、引きこもりや深夜徘徊、非行、犯罪行為など青少年に関わる問題が見られます。

また、青少年の健全育成にあたっては、市民団体や地域まちづくり協議会など関係機関と連携しつつ、青少年自然体験活動研修会やデイキャンプなど体験活動機会を提供しています。巡回活動やあいさつ運動など大人たちのそれぞれの立場からの指導や支援、非行を防ぐことができる地域づくりとともに、青少年を取り巻く環境浄化を図ることが必要です。

< 若者の社会活動への参加の促進 >

現在、若い世代が、実行委員会形式による成人式の自主運営、友好交流都市北栄町との子ども交流事業や防災キャンプ事業⁴⁸などの市主催の各種事業への参加などにおいて地域や行政との関わりを深めながら活動しています。今後もこうしたまちづくり活動へより多くの若者の参加を促し、たくましさ豊かな心を併せ持つ青少年を育成する必要があります。

施策

1 青少年の健全育成

- 青少年に関わるすべての関係部署が連携し、総合的に青少年問題に取り組む体制づくりを図ります。
- 青少年育成市民会議、PTA連絡協議会、補導委員会など青少年健全育成団体の活動を積極的に支援するとともに、少年センターなど関係機関とも連携し、家庭・地域・学校が互いに情報を共有しながら青少年の非行防止活動に取り組みます。

⁴⁸ 防災キャンプ事業…想定される災害や被災時の対応などの理解、学校などを避難所とした生活体験などの防災教育プログラムを実践するキャンプ。

○青少年にとって有害な広告物や図書の販売などについて関係機関、市民と連携して指導や取締を強化し、地域環境の浄化を図ります。

2 若者の社会活動への参加の促進

○青少年育成大会、県中学生広場、防災キャンプなどへの青少年の参加を促進します。

○子ども会、スポーツ少年団、ガールスカウト、ボーイスカウトなど青少年育成団体の活動を支援します。

○若者が参画できるイベントを通じ、リーダーの役割や手法を学ぶ機会を創出し、地域リーダーとなる若者を育成するとともに、地元企業や学校、また地域との連携による若者の活動の場づくりを進めます。

みんなで進める身近な取り組み例

○青少年を理解し、周囲が活動を支援しましょう。

○大人たちが他人の子どもでも悪い行いはしかり、正しく導くことができる地域づくりを進めましょう。

○世代を超えてみんなが一緒になって地域活動やまちづくりに積極的に参加しましょう。



若者が参画する地域のイベント

4. 社会教育の推進

現状と課題

<生涯学習環境の充実>

少子高齢化、人口の減少、情報通信技術の進展などの社会変化は、わたしたちの生活のさまざまな場面に影響しているため、時代とともに変化する学習ニーズに的確に応えなければなりません。そのため、だれでもいつでもどこでも学習ができ、その成果が生かせるまちづくりをめざしています。

子育てサポーター研修やその他の講座の開催により、地域でさまざまな活動に関わる人材の育成を図っています。生涯学習活動への参加に対する市民ニーズは高まっており、地域で指導的役割として活躍する生涯学習ボランティアの活動は行われていますが、各種事業のリーダーが不足しています。また、学習機会を通じた各世代間の交流も重要です。

今後は、市内の生涯学習施設それぞれが役割を果たし連携しながら、生涯学習のまちづくりを進める必要があります。

<図書館の充実>

図書館は、あらゆる年代の人々が気軽に利用できる施設であり、学校教育だけでなく生涯にわたり自ら学び、考える力や豊かな人間性を育む生涯学習の中核施設です。

市民の読書の要求に応え、知る権利と読む自由を保障する、資料と情報の提供を行う機関として、石部図書館と甲西図書館、移動図書館からなる図書館システムで運営しています。

インターネットや電子メールの活用により、利用者の利便性向上の取り組みを進めています。また、市内の小・中学校などと連携を図ったり、市民グループと協働して絵本の読み聞かせの行事を開催するなど、子どもが図書に親しむ機会を積極的に提供しています。今後は、市民の学習ニーズに応えるサービスの充実とともに、より多くの市民に利用してもらえるようなサービス展開と効果的なPRを図ります。

また、石部図書館、甲西図書館の2館の施設活用、移動図書館の望ましい活用など、市民にひらかれ、まちづくりに貢献できる図書館運営のあり方について検討する必要があります。

<生涯学習拠点の整備>

生涯学習の場として図書館のほか、青少年自然道場、雨山文化運動公園、文化ホールやまちづくりセンターなど多くの施設を有していますが、これらの施設の

中には、経年による施設修理・修繕が必要なものがあります。

また、施設の有効活用、運営の効率化を図るため、施設間の連携や、施設の利用関係機関・団体との調整によって各施設や各種団体の役割分担などをより明確にする必要があります。

さらに、利用団体が増加し、施設の利用が困難になっている傾向がみられるため、各施設間の調整などが必要です。

<地域学習環境の整備>

一人ひとりが主体的に地域で生涯学習のまちづくりに参加できるよう、学習機会を提供していますが、市民の生活様式や余暇、嗜好の多様化や民間学習サービスなどの成長が著しいこともあって、参加率は伸び悩んでいます。このため、より参加しやすい工夫などが必要です。

各地域においては、さまざまな課題があることから、これらの課題を確認し、地域みんなの課題として取り上げ、学習していく機会が必要です。

近年、家庭や家族を取り巻く社会状況の変化のなかで、家庭の教育力の低下が指摘されていることから、家庭教育に関して学習する機会を提供しています。保護者が自信を持って子育てできるよう、関係機関と連携し、子育てに関する情報提供や、子育ての助言や支援を行える人材の育成と資質の向上が必要です。

図書館利用状況

年度	石部図書館			甲西図書館		
	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)	新規購入図書数 (冊)	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)	新規購入図書数 (冊)
平成 22 年	132,886	31,762	2,608	364,857	74,186	9,256
平成 23 年	129,147	31,085	2,881	361,553	72,863	8,909
平成 24 年	125,528	30,327	3,164	356,103	72,144	8,474
平成 25 年	120,728	29,042	2,964	348,009	70,809	8,604
平成 26 年	110,837	26,825	2,973	334,850	69,064	8,602

資料：石部図書館・甲西図書館

施策

1 生涯学習環境の充実

- 平成 27 年度（2015 年度）から、地域まちづくり協議会がまちづくりセンター指定管理者になったことから、学習内容において地域に密着した課題やテーマを取り上げるなど地域の個性が生かされた講座の開催を促します。
- まちづくりセンターなどで開催される講座や教室の開催を、広報「こなん」をはじめ、ホームページなど多様な情報媒体を使って参加啓発や情報提供を進めます。
- 生涯学習のまちづくりのための基本計画を策定し、関係部署による推進体制を充実します。
- リーダーやボランティア育成のための研修機会を充実するとともに、活動の推進母体の育成を進め、定年退職後の活動の受け皿としても有効に活用します。

2 図書館の機能充実

- 情報の発信を行い、市民の知的好奇心を満たすとともに、地域の知の拠点として、まちづくりのひとつの核となり、より一層地域にひらかれ、地域に根ざした図書館となるよう市役所各部や関係機関などと連携をとりながら運営を進めていきます。
- 市民ニーズに対応した魅力ある資料提供に努めるとともに、利用しやすく市民に親しまれるカウンター対応、人と本を結び取り組みや利用促進のためのPRをさらに工夫・継続することで、利用促進や満足度向上に努めます。
- 多くの市民に待ち望まれる移動図書館事業の運営を検討します。
- 地域文化を発信する場として地域資料の収集と情報発信に努めます。

3 生涯学習拠点の整備

- 地域の生涯学習やまちづくりの拠点となるまちづくりセンターは、指定管理者制度の導入により、その地域の個性が生かされた運営ができるよう支援します。
- 既存施設の活用を工夫し、各施設の連携を進めることにより、効率的な運営を進めていきます。
- 市全体として生涯学習を進めるための拠点のあり方について再検討します。

4 地域学習環境の整備

- 就学前児童の学習のために子育て支援センターや幼稚園、保育園との連携によって教職員や保護者を対象とした研修会を開催します。
- 児童生徒の学習のために、学校やPTA組織との連携によって教職員や保護者を対象とした研修会を開催します。
- 家庭教育に関する保護者向け学習講座とともに、家庭教育を支援するための地域人材を養成する講座を実施します。
- 地域の持つ知識や人材（ボランティア活動など）、施設などの学びのための資源を活用し、幅広い年齢層の市民を対象とした講座の開設など、学習機会の提供や支援を進めます。

みんなで進める身近な取り組み例

- 生涯を通じて学びあい、高めあえるよう、生涯学習活動に参加しましょう。
- 豊かな教養を身に付け、人生を豊かにするために、図書館の資料などを有効に活用し、身に付けた知識や経験を地域づくりやまちづくりに生かしましょう。



生涯学習の様子

5. スポーツの振興

現状と課題

<施設利用環境の充実>

体力づくりや健康づくりに高い関心があるなか、子どもたちや働く人たち、地域住民にとってスポーツを身近に感じ親しむためのスポーツ施設や学校体育施設は、スポーツ活動において重要な役割を果たしています。

施設数は少なくありませんが老朽化した施設も多く、安全性を考慮した計画的な修繕が必要となっています。また、地域住民のニーズに応じて施設の活用方法を工夫し、地域のつながりが実感できるようなスポーツ環境を整える必要があります。

<スポーツ活動の支援>

本市では、平成26年（2014年）に「スポーツ推進計画」を策定し、「自立と協働を通じて、いつでも、どこでも、だれでもスポーツを楽しみ、いきいきと健康で豊かな未来を創る」をスポーツ推進の基本的な目標として施策に取り組んでいます。総合型地域スポーツクラブ「湖南省ちよいスポクラブ」では、さまざまな種目のスポーツを気軽に楽しむことができ、高齢者の交流の場、子どもにとってはスポーツを始めるきっかけの場となっています。

また、湖南省体育協会は、毎年多くの市民が参加する各競技種目大会を開催し、スポーツを通してまちの活性化に大きく寄与するとともに、湖南省スポーツ少年団においては多様なスポーツ活動が行われており、市ではこれらの活動支援のため事務局を設置しています。

今後も市民のスポーツニーズに応えたスポーツ環境の整備が必要です。

<身近な健康づくりの場の充実>

生活様式の多様化により、外遊びも減少するなどの理由で子どもたちの基礎体力や運動能力が低下傾向にあり、体を動かすことができる機会の充実が必要です。

健康増進やリラックスを目的とした「ウォーキング」などの軽い運動を実施している人が多くなっています。健康が重視されるなかでスポーツに対する期待が高まっていることから、健康づくり活動の一環としてのスポーツ活動の推進を図る必要があります。

施策

1 施設利用環境の充実

- 施設の維持管理の充実と老朽施設の計画的な改修、指定管理者制度の導入によって効率的な施設管理を進めます。
- 地域やスポーツ団体と協働で地域住民のニーズに応じたスポーツ環境の整備を進めます。
- 平成 36 年（2024 年）の滋賀国体や全国障害者スポーツ大会も視野に入れ、安全でだれもが利用しやすい施設をめざし、効率的な利用の促進や計画的な施設の改修に努めます。

2 スポーツ活動の支援

- 各関係団体と連携しながら、湖南省スポーツ推進委員（元：湖南省体育指導委員）を中心にスポーツ振興を進め、市民の自主運営による子どもから大人までを対象とした総合型地域スポーツクラブ、体育協会・スポーツ少年団への支援を継続します。
- 気軽にできるスポーツやリラックスできるスポーツ、さらにはボランティアとして支えるなど、スポーツに携わるさまざまな機会づくりを推進します。
- 障がい者スポーツ団体との連携、障がいのある人のスポーツイベントへの支援を進めます。

3 身近な健康づくりの場の充実

- 老若男女を問わず、だれもが気軽に参加できる運動教室などの健康づくり事業を開催し、スポーツ推進委員の健康政策関連事業への積極的な参画により、市民の健康づくりを支援します。
- 健康診断や健康まつりなどのイベント時にウォーキングマップを配布するなど、健康づくりに関する情報提供や啓発活動に取り組みます。
- 年齢、体力にあわせたプログラムの提供や、親子や仲間に参加できるスポーツ機会の充実に努めます。

みんなで進める身近な取り組み例

- 自分にあったスポーツを見つけ、余暇を利用してスポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりを継続的に行いましょう。
- 地域のスポーツイベントに積極的に参加し、自らスポーツリーダーやボランティアの役割を担いましょう。
- スポーツを通して、地域のコミュニケーションを図りましょう。

6. 歴史文化の継承と活用

現状と課題

<歴史文化遺産の保存と活用>

本市には、国宝の建造物を持つ常楽寺、長壽寺、善水寺や東海道五十三次の51番目の石部宿、中世城郭をはじめ数多くの貴重な歴史文化遺産があります。また、現在、道路トンネルとして使用されている最古の隧道などの近代化遺産も見られます。さらに、象の足跡化石が発掘されており、古墳などの考古遺産も見られます。

国・県・市指定文化財については、管理者の努力によって維持管理されていますが、指定文化財の台帳整備が十分でない文化財があり、今後の取り組みが必要です。

また、歴史資料の収集については所有者からの寄贈を受け入れる施設がなく、収集管理システムの再構築が必要です。

一方、まちづくりセンターや図書館などにおいて文化財関連講座を開講するとともに、東海道石部宿歴史民俗資料館で文化財関係資料の展示・公開を行い、市民や来訪者へ歴史文化の情報提供に努めています。また、学校や各種団体からの出前講座の要請にも積極的に対応しています。今後は、東海道石部宿歴史民俗資料館など既存の施設の有効活用が必要です。

また、現在、市史編纂に向けた資料の収集や未指定文化財の調査、埋蔵文化財の発掘調査を進めていますが、次の段階として、収集した資料や調査の成果の活用に向けた具体的な実行プログラムを作成する取り組みが必要です。

<歴史文化遺産の周辺環境の整備と情報提供>

歴史文化遺産の周辺には、交通案内看板や文化財説明看板が整備されていますが、必ずしもわかりやすい状態になっていないものもあり、デザインなどの統一もされていない現状です。

湖南省観光協会と連携し、若い世代に湖南省の魅力を知ってもらい、人に伝えていくきっかけを作るため、中高生のボランティア講座を開催し育成しています。

国指定文化財

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	年代
国宝	建 明31.12.28/昭28.3.31	長寿寺本堂	1棟	東寺五丁目(長寿寺)	鎌倉
	" 明31.12.28/昭28.3.31	常楽寺本堂	1棟	西寺六丁目(常楽寺)	室町
	" 明34.3.27/昭28.3.31	常楽寺三重塔	1基	" (")	"
	" 明32.4.5	善水寺本堂	1棟	岩根(善水寺)	"
重要文化財	建 大10.4.30	吉御子神社本殿	1棟	石部西一丁目(吉御子神社)	江戸
	" 昭27.3.29	長寿寺弁天堂	1棟	東寺五丁目(長寿寺)	室町
	" 昭34.6.27	白山神社拝殿	1棟	東寺五丁目(白山神社)	"
	" 昭36.3.23	多宝塔	1基	菩提寺	鎌倉
	絵 明30.12.28	絹本着色十六羅漢像	16幀	東寺五丁目(長寿寺)	"
	" 明32.8.1	絹本着色浄土曼荼羅図(伝僧源信筆)	1幅	西寺六丁目(常楽寺)	"
	" 大元.9.3	絹本着色仏涅槃図	1幅	" (")	"
	工 明44.4.17	錫杖	1柄	" (")	平安
	" 昭39.1.28	石燈籠	1基	" (")	室町
	" 平7.6.15	金銅飯食器	1口	" (")	平安
	" "	銅飲食器(脚欠)	1口	" (")	"
	" "	金銅火舎	1口	" (")	"
	彫 明42.4.5	木造吉彦命坐像(附 木造隨身坐像2軀)	1軀	石部西一丁目(吉御子神社)	"
	" 明41.4.23	木造阿弥陀如来坐像	1軀	東寺五丁目(長寿寺)	"
	" "	木造阿弥陀如来坐像	1軀	" (")	"
	" "	木造釈迦如来坐像	1軀	" (")	"
	" 明41.4.23	木造釈迦如来坐像	1軀	西寺六丁目(常楽寺)	"
	" 明45.2.8	木造二十八部衆立像	28軀	" (")	鎌倉
	" 大2.4.14	木造千手観音坐像	1軀	" (")	南北朝
	" 明42.4.5	木造十一面観音立像	1軀	三雲(上乘寺)	平安
	" "	木造十一面観音立像	1軀	" (永照院)	"
	" 明37.2.18	木造薬師如来坐像	1軀	岩根(善水寺)	"
	" "	木造梵天・帝釈天立像	2軀	" (")	"
	" "	木造兜跋毘沙門天立像	1軀	" (")	"
	" "	木造持国天・増長天立像	2軀	" (")	鎌倉
	" "	木造四天王立像	4軀	" (")	平安
	" "	木造不動明王坐像	1軀	" (")	"
	" "	木造僧形文殊坐像	1軀	" (")	"
	" "	金銅誕生釈迦仏立像	1軀	" (")	奈良
	" 明41.4.23	木造金剛二力士立像	2軀	" (")	平安
	" 明42.4.5	木造阿弥陀如来立像	1軀	菩提寺(菩提禅寺)	"
	" 明41.4.23	木造十一面観音立像	1軀	正福寺(正福寺)	"
" "	木造十一面観音立像	3軀	" (")	"	
" "	木造薬師如来坐像	1軀	" (")	"	
" 明43.8.29	木造地藏菩薩半跏像	1軀	" (")	"	
" 明41.4.23	木造大日如来坐像	1軀	" (")	"	
書	大元.9.3	紙本墨書常楽寺勸進状	3巻	西寺六丁目(常楽寺)	鎌倉・南北朝・室町
重要美術品	絵 昭15.9.27	絹本着色釈迦如来及四天王像	1幅	西寺六丁目(常楽寺)	鎌倉
	工 昭16.4.9	石造燈籠	1基	菩提寺(八王子神社)	南北朝
天然記念物	大10.3.3	平松のウツクシマツ自生地		平松	
史跡	大15.10.20	廃少菩提寺石多宝塔および石仏		菩提寺	
登録有形文化財	平15.3.18	妙感寺本堂(観音堂)	1棟	三雲(妙感寺)	昭和12年

施策

1 歴史文化遺産の保存と活用

- 指定文化財について、台帳の整備を進め、未指定文化財を調査するとともに、国、県、地元住民や所有者との調整を図り、保存に努めます。また、資料管理システムの再構築を図ります。
- 埋蔵文化財の調査を進め、古墳や山城などの考古遺産の保存に努めるとともに、三雲城遺跡の史跡化をめざします。
- 東海道石部宿歴史民俗資料館については、特集展示の開催、小学3年生による社会科見学の受け入れ、文化財講座を開催します。
- 学校教育や社会教育における郷土史への学習機会の提供を行い、市民の郷土史に対する理解を深めるとともに、市史の編纂の方針を検討します。

2 歴史文化遺産の周辺環境の整備と情報提供

- 市民が地域の歴史を学習し、来訪者に対し案内できる、歴史のまちづくりに取り組みます。このため、「湖南三山」を中心にして、地域の埋もれた資源、伝統行事を掘り起こし、歴史資源や東海道石部宿歴史民俗資料館をネットワーク化した巡回ルートや観光ルートを確立します。
- 東海道などの歴史的景観に配慮し、歴史資源周辺においては説明看板、交通案内看板、休憩所、トイレなどを地域・観光協会と連携を図りながら順次整備します。
- 用途に応じた観光情報のパンフレットを作成するとともに、今後も観光協会と協議を重ね、湖南三山めぐりの開催にあわせて中高生を対象としたボランティア講座を行うとともに、退職者の観光ボランティアを育成します。

みんなで進める身近な取り組み例

- 市や身近な地域の歴史文化にふれ、知識を深め、大切にしましょう。

7. 文化芸術活動の振興

現状と課題

<文化芸術活動への支援>

市民の日常生活において、心の豊かさや生活の質の向上を求め、文化芸術に親しむニーズが増えています。本市には石部文化ホール、甲西文化ホールなど、市民の文化芸術活動の拠点があります。石部文化ホール自主事業実行委員会「いべっく」と公益財団法人湖南市文化体育振興事業団との連携事業、早春コンサートや湖南アンサンブルフェスティバルを開催しています。今後は、まちづくりセンターなどの活用による身近な地域での活動場所の確保や、文化芸術にふれる機会の提供、指導者など人材の発掘といった活動支援を進める必要があります。

<新たな文化の創造>

市民との協働による湖南市としての文化の創造が重要となっており、その機会づくりが必要です。

また、各地域で展開されている地域住民や外国人市民*などによる固有の文化活動についても、それぞれに培われた特徴的な個性や魅力を育て、より豊かな市民生活を送るため、地域に根ざした身近な場での交流などが必要です。

施策

1 文化芸術活動への支援

- 市民との協働のもとに文化芸術振興施策を推進し、個性と魅力あるまちづくりをめざします。
- 地域文化資源を再認識し、有効活用を図ることにより、市民が優れた文化芸術にふれ、学ぶ機会を確保します。
- 文化芸術活動への参加を希望する市民に対し、関連情報を提供します。
- 市民の文化芸術活動に対し、ホール以外の公共施設などを生かした活動場所の確保、指導者などの育成の面で支援します。

- 第1章 市の概要
- 第2章 市の歴史と文化
- 第3章 市の産業と経済
- 第4章 市の社会と福祉
- 第5章 市の環境と自然
- 第6章 市の教育と人材
- 第7章 市の地域づくり

2 新たな文化の創造

- 地域まちづくり協議会などと協力し、地域や外国人市民*などによる文化芸術活動への支援を行うとともに、情報発信や市民同士の交流を促進することにより、多様な文化が共存する豊かなまちづくりを進めます。
- まちづくりセンターの指定管理者制度導入により、地域文化の発信を更に強化できる施策が立案できるよう働きかけます。
- より多くの人々が地域文化と接する機会を広めるため、青少年育成市民会議や各学区民会議の広報誌などの発行、ホームページへの掲載、図書館での地域資料としての保存、提供などにより情報発信を推進します。

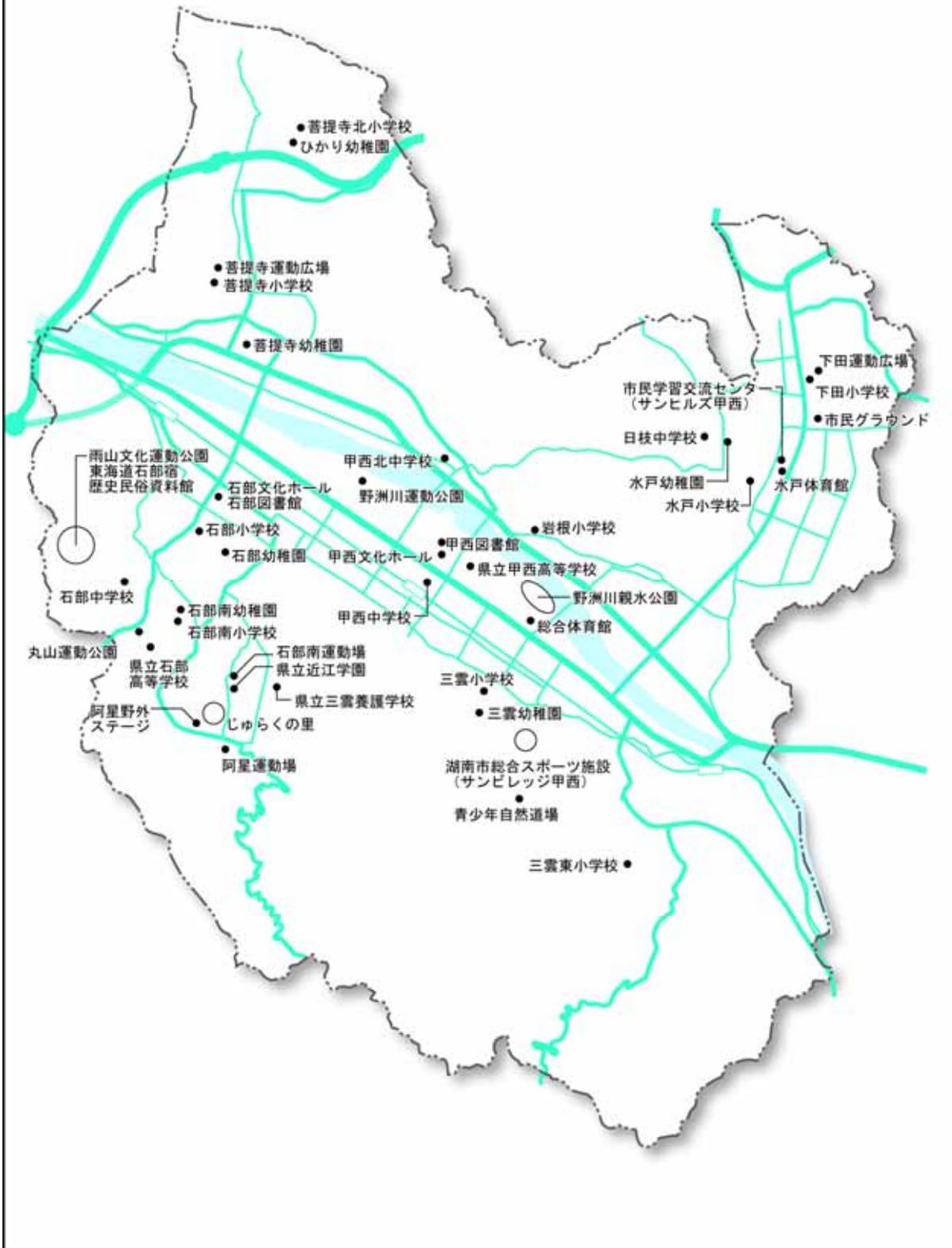
みんなで進める身近な取り組み例

- 湖南省の香り高い文化の創造に向けて、それぞれの立場で積極的に文化芸術活動や交流イベントに参加しましょう。



石部文化ホール

教育・文化・スポーツ施設分布図



第一編
はじめに

第二編
概要

第三編
行政

第四編
経済

第五編
社会

第六編
文化

第七編
環境

ともにめざす目標指標

第5章 いきいきとした暮らしをつくろう

施策	指標名	現況	目標	備考
		平成26年度末	平成32年度末	
人権教育の推進	人権について話しあい、学ぶ活動に参加する市民の増加	820人	1,100人	人権教育研究大会・出あい・気づき・発見講座・青年集会の参加者数
就学前教育・学校教育	「授業の内容がわかりやすいと答える児童・生徒の割合」	76.9%	80.0%	市内13小・中学校の平均
若者の社会参画	成人式実行委員会委員数	8人	12人	
社会教育の推進	まちづくりセンターの講座の参加者数	2,428人	2,500人	
スポーツの振興	スポーツイベント、教室に参画する人数	14,400人	15,000人	
歴史文化の継承と活用	歴史・文化財教室、講座などへの参加人数	178人	200人	
文化芸術活動の振興	文化ホールなどでの市民企画事業の増加	7回	10回	

「」は、アウトプット指標、ほかはアウトカム指標。